

# リアルオプションと戦略

2015 July

Vol. 7 No. 2


 日本リアルオプション学会  
 The Japan Association of Real Options and Strategy
<http://realopn.jp>

## 巻頭言

リアルオプション学会の原点に立ち返る [服部 徹] \_\_\_\_\_ 1

## 講演要旨

メタボロームで鶴岡に奇跡 ～血液でうつ病を測る～ [菅野 隆二] \_\_\_\_\_ 2

イノベーションとデザインプロセス [北原 康富] \_\_\_\_\_ 8

気持ちの良い土地再生を ～関わる方すべてとwin-win-winの関係を築く～ [松崎 隆司] 21

公開  
研究会  
2014-2015

大会  
JAROS  
2014

## 研究発表大会 講演要旨

 多様化するリスクと事業継続マネジメント (BCM) における  
 企業間・官民連携の重要性 [渡辺 研司]  
 ～想定外“unknown-unknown”から 結果事象対応による“unknown-known”へ～ 17

## 寄稿

プロジェクトの総合的評価法 (3) [宮原 孝夫] \_\_\_\_\_ 25

## 査読論文

インバウンドとフードツーリズム [安田 亘宏] \_\_\_\_\_ 32

## 学会ニュース

## 第7巻 第2号

### 目次

巻頭言 リアルオプション学会の原点に立ち返る ..... 服部 徹 1

#### 公開研究会 講演要旨

メタボロームで鶴岡に奇跡 ～血液でうつ病を測る～ ..... 菅野 隆二 2

イノベーションとデザインプロセス ..... 北原 康富 8

気持ちの良い土地再生を ～関わる方すべてとwin-win-winの関係を築く～ ..... 松崎 隆司 21

#### JAROS2014 研究発表大会 講演要旨

〈シンポジウムより〉

多様化するリスクと事業継続マネジメント(BCM)における企業間・官民連携の重要性

～想定外“unknown-unknown”から 結果事象対応による“unknown-known”へ～ ..... 渡辺 研司 17

#### 寄稿

〈研究メモ〉

プロジェクトの総合的評価法(3) ..... 宮原 孝夫 25

#### 査読論文

〈リアルオプション周辺での新展開〉

インバウンドとフードツーリズム ..... 安田 亘宏 32

〈学会ニュース〉

日本リアルオプション学会 会員募集のご案内 ..... 7

本機関誌へのご寄稿のお願い ..... 16

日本リアルオプション学会 法人会員 ..... 20

JAROS2015 研究発表大会へのご案内 ..... 20, 46

Call for Paper: International Journal of Real Options and Strategy ..... 24

論文誌「リアルオプション研究」原稿募集のご案内 ..... 31

学会だより ..... 47

編集後記 ..... 49

## 巻頭言

## リアルオプション学会の原点に立ち返る

服部 徹

(日本リアルオプション学会会長 電力中央研究所)

今年度より、日本リアルオプション学会の会長を務めさせていただくことになったが、この場を借りて、会長としての抱負を述べることにしたい。

日本リアルオプション学会は、リアルオプションの視点と手法に関心を持つ、さまざまな分野の研究者と実務家が、ともに啓発する場として、2006年に設立された。これまでに、会員の方はもとより、会員以外の方のご協力もあって、年に1回、研究発表大会を開催するとともに、いくつかの専門分野で部会が設立され、精力的な研究交流活動が行われている。論文誌や機関誌も発行し、特に最近では、機関誌の内容も充実してきた。一方で、現在、会員の数は伸び悩んでおり、大会での発表件数も減少傾向にあって、論文誌への投稿論文も少ないという現状もある。リアルオプションは、今や多くの研究者が分析ツールとして用いるようになり、その概念や応用が意味を失っているわけではない。ただ、リアルオプションの視点と手法は、不確実性の下での不可逆的な投資の意思決定に関わるあらゆる問題を対象としうるだけに、学会で取り扱うテーマが幅広く、そのために外からみると活動の狙いがやや分かりにくいという状況もあったかもしれない。これから学会が発展していくためには、私たちが共有するリアルオプションへの思いをもっと明確に打ち出す必要があると私は考えている。

そこで私は、会員の皆さんとともに、学会の原点に立ち返り、リアルオプションの視点と手法がもたらすさまざまな可能性を再認識し、それを広く社会で共有していく場として、この学会が存在するということをもっと鮮明に打ち出したいと考えている。もともと、この学会には、リアルオプションの視点と手法に魅力を感じた人たちが集まっている。私自身、リアルオプションの考え方や応用事例を学んで、「待つこと」や、「選択肢を持つこと」に価値があり、しかも、一定の条件の下でそれらを定量化でき、実際の意思決定にも役立つと知った時の感動は今も覚えているが、そうした純粋な喜びとともに、リアルオプションで現実の課題の解決に取り組む姿勢を示すことが、学会の発展につながると信じている。

もちろん、現実にはどのような意思決定の課題があるのかを知るために、これまで通り、社会のさまざまな分野における専門家から最先端のテーマを学び、交流する機会はこれからも提供し続けていきたいと考えている。しかしそれは、リアルオプションの新たな応用先を開拓し、応用問題から課題を得て、さらに理論を発展させるという、正のフィードバックを働かせるためである。

リアルオプション学会も来年には設立10周年を迎える。学会のさらなる発展の道筋を描けるよう、会長として微力ながら皆さまのお役に立ちたいと考えている。

## 編集後記

リアルオプション学会の機関誌、第7巻第2号をお送り致します。年4回の刊行をめざす「季刊」体制になってからの2号目となります。今回は、研究発表大会、研究科での講演を発表者の方に執筆をいただきました。また編集部から寄稿をお願いした原稿についても掲載をいたしました。宮原先生の連続の研究ノートも今回はもちろん、次号でも引き続き掲載がなされる予定です。また初めて、査読済み論文の掲載をおこないました。

次号、第7巻第3号は投稿論文をおもにしたものになる予定です。上の「本機関誌への投稿のお願い」にありますように、リアルオプション研究に寄与するさまざまなShort paperの積極的な投稿を、査読論文をも含めて、お願いいたします。

森平 爽一郎

日本リアルオプション学会機関誌  
**リアルオプションと戦略 第7巻 第2号**

2015年7月30日 発行

(機関誌編集委員会)

委員長：高森寛

委員：森平爽一郎、中岡英隆、伊藤晴祥

発行所 **日本リアルオプション学会**

THE JAPAN ASSOCIATION OF REAL OPTIONS AND STRATEGY

事務局本部：

〒103-0027

東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋1丁目ビル5F

早稲田大学ファイナンス研究センター

事務業務担当：

〒104-0033

東京都中央区新川2-22-4 新共立ビル2F

電話：03-3551-9893 FAX：03-3553-2047